

## 議 事 要 旨

会議の名称	令和7年度 第6回南あわじ市ケーブルテレビ自主放送番組審議会
開催日時	令和7年11月25日（火）午前10時00分～午前11時40分
開催場所	南あわじ市役所 本館304・305会議室
出席者	委員：7名 稲本保男、中尾隆太、山下好正、市川富夫、木田朱美、松本富美子、山田亜紀乃 （欠席者：奥井光子、土肥一二） 事務局6名 副市長 木田博仁、 総務企画部付部長（企画担当） 家田和幸 総務企画部副部長（企画担当） 中嶋宏昭 南あわじプロモーション室長 高柳智美 映像係長 前野洋司、中野尚美
審議事項	1. 前回開催時の質問に対する対応について 2. 自主放送番組の放送方針・取り組みについて 3. 放送番組の審議 ① 道の駅うずしお ～持続可能な観光地づくりを目指して～ ② スナッグゴルフでナイスショット
会議の概要	1. 開会 ・事務局から開会の言葉 2. 各委員自己紹介・あいさつ 3. 木田博仁副市長あいさつ、事務局自己紹介

#### 4. 審議事項

##### (1) 前回開催時の質問に対する対応について

###### ① トライやる・ウィーク広報動画の名前等の挿入について

令和7年度については、生徒出演による動画を制作し放送した。

併せて、市公式 SNS および市内4箇所に設置のデジタルサイネージにて周知を図る取り組みを行ったことを説明。

###### ② 市内の子どもたちが出演しての給食センター紹介番組について

給食センターの衛生管理面から可能かどうか確認が必要。

(子どもの出演はないが) 過去に撮影した映像を元に番組を制作したい。

###### ③ スポーツに興味を持ってもらえる番組の放送について

令和6年度と令和7年度に体験によるレポート番組を制作。

今後も、市民の健康維持・増進を図ることを目的に番組を制作したい。

(委員) 前回の質問への回答があることで本会が有意義な会になると思う。

給食センター紹介番組について、衛生面の問題があることを踏まえ、番組の中に子どもたちの表情や反応をワイプで挿入してはどうか？

(事務局) 思いつかなかったようなアイデアをいただいた。

スタッフ内で共有して生かしていきたい。

##### (2) 自主放送番組の放送方針・取り組みについて

・プロモーション室の取り組み(組織目標・市所有情報媒体について)

・これまでのケーブルテレビの取り組み(番組改編・他の媒体での発信等)

(委員) 視聴率について把握できないか？

必要な方に情報を届けるとは、各分野に渡るように届けるということか？

(事務局) 現在のところ視聴率を図る手法はない。

データ放送を活用した視聴数を取得するツールを令和8年1月に導入予定。

取得したデータを元に、番組制作および広報効果の分析に活用したい。

必要な方に伝える情報とは、対象としては市民全体。

その中で、必要な情報が必要な方に確実に届く体制の構築を目指すということ。ケーブルテレビのみならず、広報誌・SNS等の媒体をフル活用して情報を届けることを目指したい。

(委員) ケーブルテレビはありがたいが、あまり見られていないのが現実。

今何を放送しているかが分かるものが必要ではないか。

(事務局) それについては長年の課題として認識している。

現在取り組んでいる工夫として電子番組表の活用を広報誌等を活用して推進しているほか、ホームページやLINE・SNSを活用して周知を図っている。市の所有媒体を積極的に活用して今後も周知を図っていききたい。

また、見たい番組を作る工夫が大切と認識している。

幅広い世代にご覧いただき、日常の会話で話題となるような番組づくりを進めて参りたい。

(3) 自主放送番組の放送方針・取り組みについて

・ケーブルテレビの現在の取り組み

「伝わる」情報伝達を届け市民の行動変容を促す

上記を意識した番組制作の種類の説明

特集番組試聴

① 道の駅うずしお ～持続可能な観光地づくりを目指して～

② スナッグゴルフでナイスショット

現在取り組んでいる特集番組について

(委員) 試聴番組について参考になった。

道の駅うずしおについては、駐車場が狭いと感じるが、景色もすばらしく自転車道も整備されると賑わいが期待できるのではないかと。

スナッグゴルフについては、親子で何かをすることで学ぶことがあるのではないかと。自然の中で子どもを育てることの大切さを感じた。

全体として、情報が届く手法（放送プログラム・番組内容等）が必要ではないかと。

また子育てについて、淡路医療センターの運営が厳しいと言われるが、安心して子育てができる環境であるということを知りたい。

(事務局) 番組を通して、世代を超えた交流に結びつけばと思う。

制作した番組を見てもらおう手法として、YouTube への掲載を積極的に進めていきたい。YouTube への掲載をきっかけに、ケーブルテレビを見る習慣付けができればと考える。

淡路医療センターの実情については、県などとの協力が不可欠だが、取り上げるべき事項であれば取り上げていきたい。

説明が漏れていたが、「市政だより」という番組で市の取り組みや動きを紹介しているので、ご確認を願いたい。

(事務局) 道の駅うずしおの駐車場が狭いとのこと。

担当課と連携して、対応中または対応済について市所有の媒体を活用して周知を図って参りたい。

(4) 自主放送番組の放送方針・取り組みについて

・ケーブルテレビの今後の取り組み

他の媒体を活用した全世代への情報発信

視聴数調査を通じた視聴実態の把握

他の情報発信媒体と視聴数データを元にした効果的な情報発信の追求

(委員) 道の駅うずしおの動画。

南あわじ市の特産に「渦潮の流れに揉まれたフグ」とあったが、フグではなく鯛である。南あわじ市は鯛で栄えた町なので、鯛を入れてほしかった。

(事務局) 認識が不足していたと思う。今後気を付けたい。

(委員) 試聴した番組について、文字がたくさん挿入されていたり、自然体のレポートであったり、もっと多くの人に見てもらいたいと思った。

その上で、LINE で番組の放送予告を周知すべきではないか。

(事務局) LINE を活用した予告については取り組みを始めているが、市民全体にとって必要な情報なのかといった所で迷いがあった。

ご意見を元に積極的に活用して参りたい。

(委員) 例えばゴルフであれば「体力づくりに興味のある方」や「スポーツを始めた人」などをタイトルに含めてみてはどうか？

(事務局) 興味を引くような見出しを意識して発信していきたい。

(委員) 事務局説明の最後に言った「自分の意志で（情報を）受けることを願って番組を作ると言っていた。

非常に良い話かと思うので、是非、視聴者が自分の意志でチャンネルを合わせるような取り組みをお願いしたい。

(事務局) 引き続き、見てもらえる環境づくりと、その先の行動変容を目指して情報発信に取り組んでいきたい。

5. 閉会

・総務企画部ふるさと創生課プロモーション室長より閉会あいさつ